

明日を担う若手職員を紹介します！

No.8 県北広域振興局土木部 技師 菊池崇尚さん

美しい県土づくり NEWS では、県土整備部の明日を担う若手職員への突撃 お仕事インタビューを掲載しています。若手職員の日頃の仕事情況や、仕事に対する心意気などをご紹介しますので、ご期待ください。

第8回は、**県北広域振興局土木部の菊池技師**です。

Q1 担当している仕事を教えてください

平成12年度入庁

一関地方振興局土木部(現 県南広域振興局一関土木センター) 県庁都市計画課などで主に道路工事の設計監督業務や街路公園事業の予算の管理などを担当してきました。

(現在) 県北広域振興局土木部 4年目

主に道路防災対策や橋梁補修など既存の道路における維持管理関係の設計や工事監督を担当しています。



Q2 仕事の面白いところは何ですか？

工事の企画段階から完成までの一連の業務を担当することができ、負担も大きいですが、その分やりがいを感じます。少しの工夫や配慮によって、完成までの期間や成果が著しく変わっていきますので、常に先を読んで仕事を進めるよう気をつけています。

Q3 仕事の難しいところは何ですか？

橋やトンネルなどの道路施設の老朽化が進んでいますので、道路を利用する方々の便を損なわないよう、これまで以上に適切に管理をする必要がありますが、対象となる施設が非常に多いことから、対象施設を正確に把握し、状態及び対策の必要性を正確に判断することに難しさを感じています。

Q4 どんな職場ですか？

各年代がバランスよくそろっており、それぞれの立場や経験を元に自由な意見が言い合える、恵まれた環境です。また、繁忙期や非常時には各担当の枠を超え、皆が一丸となって業務に取り組んでいる素晴らしい職場です(特に道路整備チーム、河川港湾課の皆さんにはお世話になっています)。

ちなみに、職場が合同庁舎の5階にあるため、窓から久慈湾を眺望することができますので、仕事の合間の気分転換には事欠きません。

Q5 最後に一言(今後の抱負など)！

既に若手とは言えない年齢(風貌)ですが、常に「誰のため、何のための仕事か？」という原点を意識し、前例に捉われることなく仕事に取り組みたいと思います。

久慈地域には美味しい食材と素晴らしい景観がたくさんありますので、是非、観光にお越しください！！



現在担当している法面工事現場の山頂部から撮影した写真です。久慈地域の海岸線は四方八方に絶景が広がっています！